

図書だより

令和3年6月17日
秋田県立視覚支援学校
図書委員会発行
No.3

梅雨時に読書はいかが？

いよいよ秋田も梅雨入り間近です。梅雨時は、湿度の高いじめじめした日が続きますが、田んぼでは、植えたばかりの苗が青々と成長していく大事な時です。雨音の心地よいリズムは、自然と心を落ち着かせ、集中力をアップさせる効果があるそうです。そんなわけで、梅雨時は、しとしと降る雨音に耳を傾けながら、じっくり読書をするのもいいですね！



No book, no life ～本は生活を豊かにする～



さて、先日の図書委員会で、今年度の図書委員会のスローガンが決まりました！それは、「No book, no life (ノーブック、ノーライフ) ～本は生活を豊かにする～」です。委員みんなで考えたたくさんの案の中からこのスローガンが圧倒的な支持を受け決まりました。「No book・・・」は、直訳すると「本なしでは生きられない」というような意味になると思いますが、「本は生活を豊かにする」という副題を付けました。様々な本との出会いは、私たちの生活を豊かにしてくれます。未知のことを知る喜び、安らぎを与えてくれる時間、深い思考や踏み出す勇気を与えてくれるなど・・・。図書委員会はこのスローガンのもと、今年度の活動を開始しました。どうぞよろしくお祈いします！

◆新しく購入した本、「谷川俊太郎詩集 すき」の中から一つ詩を紹介します。

かんがえるのって
おもしろい

かんがえるのって おもしろい
どこかとおくへいくみたい
しらないけしきが みえてきて
そらのあおさが ふかくなる
このおかのうえ このきょうしつは
みらいにむかって とんでいる
なかよくするって ふしぎだね
けんかするの も いいみたい
しらないきもちが かくれてて
まえよりもっと すきになる
このおかのうえ このがっこうは
みんなのちからで そだつてく



図書委員による今月のおすすめの本 中学部3年 S. Yさんのおすすめの本です！



「どこかいきのバス」

井上 よう子 作、文研出版



主人公はある日、おかあさんとけんかをして家を出て行ってしまいました。横断歩道^{おうたんほどう}をかけぬけ、クリーニング屋^{かどま}の角を曲がって曲がって、知らない道を走って、走って…、とうとう息を切らしながら道ばたにすわりこんで泣いていると、バス停ではないのにバスが止まりました。

行き先は…「どこか」と書いてあります。

「どうせ家出するんだから、乗っちゃえ！」と言い、そのバスに乗った主人公はそのバスの異変^{いへん}に気がつきます。さて、どうなるのでしょうか。その異変は皆さんがたしかめてみてください。

旅好きな人におすすめです！

※「どこかいきのバス」は、図書室にありますので、どうぞご利用ください。

◆「はらぺこあおむし」の作者、エリック・カールさん亡くなる

世界各国で世代を超えて親しまれている絵本「はらぺこあおむし」を描いたアメリカの絵本作家、エリック・カールさんが、5月23日亡くなりました。91歳でした。エリック・カールさんは1929年にアメリカ、ニューヨーク州で生まれ、「ニューヨーク・タイムズ」のグラフィックデザイナーを経て、1967年に絵本作家としてデビュー。動物や虫といった生き物を豊かな色彩^{しきさい}で描く作風で人気を集め、中でも幼いあおむしの成長を描いた「はらぺこあおむし」は1969年にアメリカで出版された後、70以上の言語^{ほんやく}に翻訳され親しまれています。 ◆ところで、

「はらぺこあおむし」の初版本は日本で印刷されました。当時アメリカには、穴あきのしかけがあり、ページの大きさも様々でユニークなこの絵本を印刷・製本できる会社がなかったからです。 ※図書室には、「はらぺこあおむし」



の拡大触察本^{しよくさつ さわ}（触れる本）や、「できるかな? あたまからつまさきまで」などもあります。